

# ENTRE PRESS

Vol. 44



## contents

- P2 ..... 通常会員総会
- P3 ..... 講演会
- P4 ..... 懇親会
- P5 ..... ボウリング大会・5月例会
- P6 ..... ズームアップサークル/広島YEG 城北OB会  
ズームアップパーソン/ヨット日本一男
- P7 ..... 新入会員紹介  
ホームページリニューアルのご案内
- P8 ..... イベント情報



U R L : <http://www.h-yeg.jp>  
 E-mail : [yeg@hiroshimacci.or.jp](mailto:yeg@hiroshimacci.or.jp)  
 発行人：熊本裕子  
 編集：広報委員会

# 通常会員総会

日時…平成18年4月28日

場所…リーガロイヤルホテル広島(宮島の間)

出席者数…188名(内委任状85名)

熊本会長基本方針

スローガン 『青年部を楽しもう』



決意を熱く語る熊本会長

今年、広島商工会議所青年部は発足10年を迎えます。10年前に246名でスタートした本会も今では、全国の商工会議所青年部内でも有数の組織となっております。

皆の結束の下、多岐にわたる事業を展開してきた当青年部は、諸々の直近の課題の他、ビジネスフエスティバルの開催、ネットワークの構築や拡大等にも腐心し、更には、広島県連の設立・商青連への加盟・中国ブロック大会の主管等、確実なステップを踏み、今日に至っております。

正に、皆の熱意と行動力によって築かれた10周年です。

この10年間を振り返り、新たな10年を切り開く区切りの年として『10周年記念事業』を催したいと考えています。

本年度はこの事業を通じて式典の開催だ

けではなく、私たち青年部がどのような方向性を持つて会を運営していくのか、未来ビジョンを明確にし、より広範囲な活動と柔軟性ある方策の策定を視野に入れていくものになりたいと考えています。

私たち青年部の大きな特徴の一つに、例会などの出席義務がないことが挙げられます。しかし、出席しなければ何も得るものはありません。

景気回復が紙面を賑わす中、まだまだ地方の中小零細企業は実感の少ない混沌とした現状に身を委ねています。

そんな中にあり、縁あつて集まった仲間同士です。集いし仲間たちと共に、様々な事業の企画・実施を行ない、現状の打破、風穴を開けることが青年部らしい「生き方」ではないでしょうか。

誰かに任せる、誰かにやつてもらうのでは、青年部の意味がありません。

一人一人の力が結集されれば、魅力ある青年部の形が見えてきます。

本年度は「青年部を楽しもう！」をスローガンに、まずは自分自身が青年部を楽しんでください。

互いに影響し合い刺激を受けて、更なる友情と信頼が広がることで、活動する楽しさを存分に享受していきましょう。

笑顔溢れる一年を過ごしていけるように精一杯努力して参ります。

広島商工会議所青年部の更なる飛躍と発展の為に、皆様の知恵と力をお貸し頂きます様、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 役員

### 《会長》



熊本 裕子

### 《直前会長》



高田 秀穂

### 《監事》



下前 嘉彦

### 《監事》



植田 裕

### 《顧問》



仁田 一郎



久保田 貴八郎

### 《会務グループ》

#### 副会長



武田 哲司

総務・渉外委員会 幹事  
広報委員会 幹事

毛利 茂芳  
越智 拓也

### 《例会グループ》

#### 副会長



宮田 典知

広島を考える委員会 幹事  
経済人育成委員会 幹事

岡田 誠治  
佐古 雄司

### 《会員親睦グループ》

#### 副会長



川村 聡

コミュニケーション促進委員会 幹事  
会員サポート委員会 幹事  
会員サービス委員会 幹事

迫谷 浩司  
石井 隆  
林 太郎

### 《トレーニンググループ》

#### 副会長



堀江 征治

ネットワーク強化委員会 幹事  
ニューフェース育成委員会 幹事

丸子 潤一郎  
川村 晏徳

### 《ビジネスフエスティバルグループ》

#### 副会長



山本 昌宏

ビジネスフエスティバル実行委員会 幹事

巢守 佳之

### 《10周年記念事業グループ》

#### 副会長



安田 秀一郎

記念事業実行委員会 幹事  
記念誌作成委員会 幹事

河本 康成  
大内 茂稔

### 《特別委員会》

未来ビジョン策定特別委員会



市川 弘

### 《特別会議》

21世紀戦略特別会議

歴代会長・正副会長・監事

## 講演会

テーマ：「青年部発足10年を迎えて」  
講師：中村角株式会社 社長 中村 成朗氏

### (1) 青年部設立までの経緯



講師：中村 成朗氏

青年部発足10周年おめでとつございます。平成3年から9年までの2期6年間、当時橋口商工会議所会頭(元広島銀行頭取)のもとで副会頭の任にありました。

### (2) 青年部生みの親 橋口会頭の思い出

昭和63年から平成11年まで広島商工会議所会頭を務められました。大蔵省で主計局長を務められた後、初代の国土事務次官を経て、公正取引委員会委員長の後、訳あって昭和59年に広島銀行頭取に転進された方です。

人となりを一言ではとても表せない豊かな才能の持ち主で、広島の方ほどの人に過去あったことがないというのが正直な感想です。記憶力が抜群で、美術、お酒、歌など多彩な分野で豊富な知識をお持ちでありました。博識で、信念を曲げない正義感が印象に強く残っています。

### (3) 未来の経営者へのアドバイス

昭和53年に青年会議所理事長になり、59年に中村角の代表取締役になりました。父が元気なうちに経営のバトンを託され、しばらくは父の番頭に囲まれて仕事をする環境でした。入社当初に受けた父の番頭からの忠告は今も記憶に鮮明に残っております。入社当日、その番頭が「3年間は会社の批判を口にはいけない。その代わりノートに記録しておきなさい。」

3年後に全て聞きましよう」と言ってきました。果たして、3年後にノートを読み返すと一言もなくてよいことが殆どであったことに驚きました。

拙速に批判していたら大きな失敗をするところでした。この時、耳の痛いこともはつきり言ってくれる人の必要性を痛感いたしました。今は時代の流れが早くなっているもので3年ではなく1年間は我慢するよう社内ですべておきます。

また、どの業種も同じかと思いますが、扱い品目や顧客によって求められているものを敏感に察知し、正確に把握することが非常に大切な環境になってきております。それらをいち早く把握し、顧客に評価される提案力を醸成することで確実な成長をつかんでいただきたいと思っております。

私は社内の末端まで私の意思を本当に疎通させるまでに、社長就任から7、8年間はかかった経験があります。同じ事を機会ある毎に、繰り返し繰り返し話しました。

又、事業を伸ばすには社員のやる気が重要となります。それには信賞必罰をもってあたることも重要と心得ます。

私の好きな言葉は山本五十六元帥が言った「やってみせ、言ってみせ、聞かせて、させてみて、誉めてやらねば 人は動かじ」です。

社長は健康が一番重要です。社員が安心してついてきてくれるにはとても大切なことです。そのために22年間続けていることがありますが、最初は少しずつ始めた縄跳びですが、今では一日に300回ほど飛んでおります。これにストレッチを加えております。丈夫で軟らかい身体を維持し、社員と接することが経営者には重要なことです。皆さんも今から心がけてみてください。



熱心に耳を傾ける会員



講演会風景



来賓OB席



県連席



司会を務める安川会員



広島を考える委員会



広報委員会



総務・渉外委員会



会員サポート委員会



会員親睦グループ



経済人育成委員会



ビジネスフェスティバル実行委員会



ニューフェイス育成委員会



ネットワーク強化委員会



下前監事による中締め



県連杉本会長



10周年記念事業グループ

日時：平成18年5月13日(土)  
14時～20時

場所：ボウル国際、広島国際ホテル  
参加人数：60人

### 会員親睦事業

であるボウリング大会が5月13日(土)に、ボウル国際で開催されました。



当日はソフトボール大会の予定でしたが、前日より降りつづいたため残念ながらボウリング大会に変更となっていました。会員の中にはソフトボールを楽しみにしていた方が多数おられたと思います。

ボウリングのゲームがはじまるとそんな思いもどこへやら！

和気あいあいとした雰囲気でも盛り上がり、雨天で残念だったなどという気持ちを吹き飛ばすぐらい白熱したゲームがくりひろげられ、個人戦では毛利茂芳さん、団体戦では経済人育成委員会の優勝で幕を閉じ、その後会場を国際ホテルへ移し、一階の「東風」にて表彰式及び懇親会でまたまた盛り上がりがありました。

日々の仕事から離れ、リラックステキな一日を過ごすことができ、楽しく充実した親睦事業になったと思います。これも開催にあたりご協力をして頂いたみな様のおかげだと思っております。

成績結果は次のとおりです。

団体 優勝 経済人育成委員会チーム

二位 総務・渉外委員会チーム

三位 ネットワーク強化委員会チーム

平均スコア 143.75

個人 優勝 毛利 茂芳さん

二位 宮原 英俊さん

三位 山根 隆治さん

スコア合計 329(183・146)

優勝 毛利 茂芳選手



張り切るも惜敗した正副チーム

# ボウリング大会

日時：平成18年5月26日(金)18時から20時  
場所：広島商工会議所ビル1001会議室  
講師：(株)アクリアス情報研究所

参加人数：64人  
代表取締役 織田直子氏

### 第1回「人前で話すときの話術」

◎信じられない!?あの織田さんが…



講師：織田 直子氏

講演に入られる前に衝撃的な告白が！「私は実は学生時代、人前で話すことが苦手で、いつも下を向いていたんです。」  
アナウンサーとして活躍し、人材育成コンサルタントとして大勢の前で堂々と話をされている現在の姿からは想像できない告白に、場内は騒然としました。

続けて曰く「話すということは才能ではなく後天的な技術。誰でも声は磨けば光ります。私も訓練しました。(声)と(言葉)と話し方、このミックスが話術の極意。誰でもいつでも訓練を始めることができます」

◎いい声めざして実習してみよう！

声は磨けば光る！というわけで、その入口を実習してみること。

大切なのは腹式呼吸。お腹から声を出すこと。「すべて基本が大切。基本があつてはじめて個性が輝きます。基本のない特性はただの癖であることをわきまえてほしい」という織田さんの言葉に全員頷きながら挑戦です。

まずは母音から。すべての日本語の言葉形成する母音をマスターすれば、発声は6割

方クリアしたようなものなんだとか。

背筋を伸ばしてイスに座り、つま先を上げてお腹の中から「あ…」気の抜けたような声に喝が入ります。

「もつと口を開けて、声の玉を遠くに投げるように、お腹から声を出して！」  
「あっ!!」

3ヶ月集中的に訓練すれば、必ず変わるという織田さんの言葉に、参加者一同真剣に取り組みました。

次は「間の取り方。最も強調したい言葉の前に「間」を設けることがポイントとのこと。『優秀な営業マンは間の取り方が上手なんです』と織田さん。確かにそうですね。

その他、「右脳に訴える言葉を使う」「話すことの目標を失わない」「話の終わり方のコツ」など、分かりやすく教えていただきました。

話す力がつくと、伝達する能力が上がります。理解してくれる人が増え協力者が増え職場が活気づく——聞けば聞くほど、「話す能力」の大切さを感じさせられた講演・研修でした。7月例会の『部下のやる気を引き出す話術』もとても楽しみです。



ふむふむ、なるほど～。

# 5月例会

# ズームアップ サークル

## 広島YEG 城北OB会発足!!

当会会員の中で広島城北学園OBの有志11人が4月4日流川の料亭に集まり、広島YEG城北OB会結成に向けての準備会を開催いたしました。古田OBによる乾杯のご発声と同時に思い出話に華が咲き、次第に盛り上がりました。

「小さな会かも知れないが、同じ学校を出た者同士が集い出会う場があってもいいんじゃないか」「世代は違えど懐かしい話を共有できて楽しい」などの議論がされ、「やるからにはピシッとした会にしようじゃないか!」と皆の気持ちは一つになりました。



そうそう、ピシッと!  
気合いを入れる古田OB

「やるからにはピシッとした会にしようじゃないか!」と皆の気持ちは一つになりました。

- 1、6月22日(木)に発足総会をする
  - 2、宮田典知氏を発起人代表とする
- などが決められ、準備会は終了しました。

※この会に興味をもたれた方はお気軽に幹事までご連絡ください。

<広島YEG城北OB会幹事>  
川村聡 中野淳司 巢守佳之

※参加資格は当会会員、又はOBであり、尚且つ広島城北学園のOBであること。

思いを語る宮田代表



城北  
や健  
け男  
え児

あんとれぶれすでは、仲間募集中のサークルからの記事を大募集しております。

事務局までご一報いただければ、広報委員会メンバーが取材に参ります。

ゴルフ、テニス、釣り、バイク、映画、音楽、合コンなど楽しいことなら何のサークルでも結構です。会員の皆様で紙面を盛り上げましょう!

# ズームアップ パーソン

## ヨット日本一男!!

ズームアップパーソン第1回は、増金道晴さんです。増金さんはヨットで全国を3度制覇され、ソウル五輪を目指して日本ヨット界の第一線で活躍された方なのです。広島YEG会員(現役)の中にこんな方がいようとは... さっそくインタビューをしてみました。

増金道晴  
会員



Q:ヨットを始められたきっかけは?

A:中学生時代、軟式野球部に所属していましたが、高校入学したとき体が小さいため野球を断念しました。小さくても大きい人に勝てるスポーツは?と考えた結果、元々海が好きだったこともあり、ヨットを選びました。

Q:高校時代の戦績は?

A:県総体全て優勝し、インターハイにも出場しましたが、入賞できませんでした。

Q:悔しかったですか?

A:そうですね。絶対日本一になってやると決意し、ヨットが日本一強い日大へ入りました。

Q:その日大での戦績は?

A:1年生からレギュラーに選ばれ、3年生と4年生のときにインカレで連続優勝しました。そのほか東日本学生で個人優勝しました。

Q:すごいですね!卒業されてからは続けましたか?

A:地元国体の強化選手として鳥取へ(生まれも育ちも広島です)移住し、鳥取国体、天皇杯、皇后杯(ソウルオリンピック選考会)、山梨国体に出ました。全日本鳥羽マッチレースでは2回目の挑戦でやっと優勝しました。

Q:なるほど、それで今でもたくましい腕なのですね。まさか43歳になる現在も?

A:2年に1度の全日本ミドルボート選手権へ参加してます。それと2004年ラジコンヨット選手権で全国2位になりました(笑)

今でもヨットがお好きなんですね~取材ご協力ありがとうございました。

ミドルボート選手権

あんとれぶれすでは、すごい人(すごかった人)大募集しております。過去の栄光でも現在進行中でも構いません。

事務局までご一報いただければ、広報委員会メンバーが取材に参ります。自薦・他薦は問いません。

※お仕事に関する内容をご遠慮ください。

# 新入会員紹介

4 月 入 会	氏名	企業名	役職	所属委員会
	小林 伸行 (コバヤシ ノブユキ)	(有)玉屋	統括部長	会員サービス委員会
	行森 敦史 (ユキモリ アツシ)	(有)行森商店	代表取締役	記念誌作成委員会
	山本 知美 (ヤマモト トモミ)	(株)安佐北建設	代表取締役	経済人育成委員会
	田島 潔 (タシマ キヨシ)	(株)らいでん	常務取締役	経済人育成委員会
	根石 耀与 (ネイシ カヨ)	ベルリッツ・ジャパン(株) 広島ランゲージセンター	マネージャー	ビジネスフェスティバル実行委員会
	吉田 大蔵 (ヨシダ ダイソウ)	菱光産業(株)	代表取締役	経済人育成委員会
	中村 弘 (ナカムラ ヒロシ)	中村土地家屋調査士事務所		広島を考える委員会
	小宇羅元俊 (コウラ ハルトシ)	三栄産業(株)	部長	広報委員会
	石橋 益人 (イシバシ マスト)	エムアイ商事(株)	統括営業部長	会員サービス委員会
	船橋 憲敏 (フナバシ ノリトシ)	(株)ピーカチ	代表取締役	記念事業実行委員会
	本多 正治 (ホンダ ショウジ)	(有)G-net	代表取締役	ビジネスフェスティバル実行委員会
	堤 大地 (ツツミ ダイチ)	堤防水塗装工業(有)	代表取締役	会員サービス委員会
北川 和典 (キタガワ カズノリ)	(株)ミックス	総合企画室長	ビジネスフェスティバル実行委員会	

5 月 入 会	氏名	企業名	役職	所属委員会
	室 祥仁 (ムロ ヨシヒト)	(株)西井製作所	取締役第2事業部長	ビジネスフェスティバル実行委員会
井上 尚 (イノウエ タカシ)	(株)日美	代表取締役	ビジネスフェスティバル実行委員会	

5月10日現在 会員数256名

広島商工会議所青年部  
オフィシャルホームページ  
リニューアルのご案内



5/29デザイン一新 心機一転リニューアルいたしました。  
内外問わず多数のご来訪をお待ちしております。

広報委員会一同

<http://www.h-yeg.jp>



# 広島商工会議所青年部 創立十周年記念式典

平成18年6月16日(金) 16:00開幕 15:30開場  
広島全日空ホテル 3階オーキッド

記念講演 原田 真二  
「I'll try!～新たな夢に向かって～」

※お申し込みまだの方、すぐに事務局までご連絡下さい。



YEG

第24回 商工会議所青年部 中国ブロック大会

## 総社大会

開催地テーマ「人・心・元気」

場所：総社市民会館・岡山県立大学  
開催日：平成18年9月15日(金)・16日(土)

詳しくは

<http://www.kibiji.ne.jp/bloc/>

【お問い合わせ】総社商工会議所青年部  
〒719-1131 岡山県総社市中央6-9-108  
TEL(0866)92-1122 FAX(0866)93-9699  
E-mail:syeg@kibiji.ne.jp

### 7月例会

「実践 経営者の為の話し方」第2回  
部下のやる気を引き出す話術



講師：(株)アクエリアス情報研究所  
織田 直子

平成18年7月28日(金) 18:00～20:00 広島商工会議所101号室

### 編集後記

今年度はじめてのあんといれぶれず。  
いろいろ不慣れで読みにくい所、  
多々あったかと思えます。  
どうかお許し下さいませ。  
次回はもっといいもの作ろう！と、  
委員会メンバー同張り切っております。  
アドバイス・記事のご提案など  
ございましたらすぐ取材に参りますので、  
お気軽にどしどしご連絡下さい。

広報委員会一同

